

## 設計業務等における積算の簡素化の試行について

### 1. 積算の簡素化について

現在の設計業務等積算基準では、歩掛として、技師等の職階別に人日が設定されているが、この数値については、実態と乖離しているとの意見が多く挙げられており、歩掛実態調査においても、職階のぶれが見られることも多い。このことから、現在の職階別人日の表示から、技師（C）換算による業務量表示に変更し、積算の簡素化を図るものとし、平成22年度発注業務の一部において試行する。

### 2. 試行対象業務

平成22年度新たな積算手法の試行対象業務のうち、「道路詳細設計（A）」及び「標準護岸詳細設計」を含む業務について、一部業務で試行を実施する。

### 3. 試行における積算方法

試行対象業務については、設計業務等における新たな積算手法により積算を行うものとし、「道路詳細設計（A）」及び「標準護岸詳細設計」については、直接人件費の算定に表1及び表2に記載する歩掛を使用する。

表1. 「道路詳細設計（A）」に係る歩掛

(1 kmあたり)

職 種	業 務 量
区 分	
設 計 計 画 及 び 施 工 計 画	6.5
現 地 踏 査	2.5
平 面 縦 断 設 計	8.0
横 断 設 計	9.5
道 路 付 帯 構 造 物 ・ 小 構 造 物 設 計	8.0
仮 設 構 造 物 ・ 用 排 水 設 計	3.5
設 計 図	7.0
数 量 計 算	10.5
照 査	3.0
報 告 書 作 成	6.5
計	65.0

※業務量は技師（C）相当とする。

表2. 「標準護岸詳細設計」に係る歩掛

(単位：200m当り)

工 種	種 別	業 務 量	
		片岸	両岸
設 計 計 画		2.5	2.5
現 地 踏 査		4.0	4.0
基 本 事 項 の 決 定	法線等の見直し検討	3.0	4.5
	護岸の配置計画	3.0	3.5
	構造物との 取付検討	2.0	3.0
	小 計	8.0	11.0
景 観 検 討		1.5	2.0
本 体 設 計	基礎工検討諸元設定	3.0	3.0
	安 定 計 算	3.0	3.5
	小 計	6.0	6.5
付 帯 施 設 設 計	階 段 工 等	1.0	1.0
	排 水 管 渠	1.0	1.0
	そ の 他 施 設	1.5	2.0
	小 計	3.5	4.0
施 工 計 画	施 工 計 画	5.0	6.0
	仮 設 計 画	3.0	4.0
図 面 作 成	図 面 作 成	9.5	12.5
	パ ー ス 作 成	3.0	3.5
数 量 計 算		4.5	6.5
照 査		2.5	4.0
報 告 書 作 成		4.0	5.0
計		57.0	71.5

※業務量は技師（C）相当とする。